

白く輝く長田谷津

谷と斜面林から構成される「長田谷津」は、市川の豊かな自然を代表する場所です。昭和40年代まで、付近は水田が広がるのどかな農村地帯でした。稲作が行われなくなったとき、この貴重な自然を守り伝えようと整備したのが「大町自然観察園」です。

←4-5面の関連記事をご覧ください

今も涸れることのない湧水は、植物や昆虫、野鳥、その他たくさんの生き物たちにとって、かけがえのないオアシスを作り出しています。冬は冬らしく、夏は夏らしく。長田谷津は、都市生活では感じられない四季の移ろいを、五感いっぱい感じられる場所です。

大町284
(大町レクリエーションゾーン)
問 339・0477 自然博物館



広報 いちかわ ICHIKAWA PUBLIC INFORMATION

1月1日
2011年(平成23年)
毎月第1～第4土曜日発行
No. 1409

発行:市川市
編集:企画部広報広聴担当
〒272-8501
市川市八幡1-1-1
TEL 047-334-1111
FAX 047-336-2300
ホームページ
<http://www.city.ichikawa.lg.jp/>

市川市の人口
(12月1日現在)
475,287人
(前月比-127人)
男242,836人 女232,451人
219,171世帯
(前月比-159)

今週号の紙面から

- 特集 長田谷津の四季ごよみ**
- 条件満たす新築・改修に固定資産税を軽減…2面(税金・お知らせ)
 - チーバくんの誕生日会…2面(千葉県・お知らせ)
 - 年始の市の業務 3面(行政・お知らせ)
 - 市内の認可保育園で一時預かり・特定保育を実施…6面(保育・お知らせ)



新年明けまして おめでとうございます

市長 大久保 博

この一年が皆様にとりまして幸多い年となりましますことを心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

そして4月からは、市川の今後十年間の方向性を定めた「第二次基本計画」がスタートします。新たな計画のもと、魅力的なまちづくりを進めてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

また、都市計画道路の整備や公共施設の耐震化工事など、これまで実施してきた公共事業は、計画どおり完成を目指します。

近々、地方自治体には、住んで良かった、住んでみたいと思えるまちづくりが求められています。

市川市においても、その立地条件を活かし、市民が永住したいと思える魅力的なまちづくりを進めてまいります。そのためには、様々な場面において潤いと活気のある

街を目指す必要があります。具体的には、これまでの「健康都市いちかわ」の取り組みをさらに推進することで、市民が安心して健やかに、生き生きと暮らすことのできる街にしていきたいです。「健康都市いちかわ」については長年の実績が評価され、昨年、WHO西太平洋地域事務局局長賞を受賞しました。今後も引き続き取り組みを発展させてまいります。

新年あけましておめでとうございます。昨年は、皆様から市川市政にご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。振り返りますと、本市で開催された国体ハンドボール競技大会では、多くの市民ボランティアのご協力、ならびに会場として体育館をお借りできたことなどにより、大いに競技が盛り上がり大会を終えることができました。また市政では、直接市民からの政策的提案をお受けする市長目安箱や、多くの市民委員が参加した事業仕分けなどを実施することで、市民の視線を改めて認識できました。

平成23年はこれまでの一年間を土台に、新たな飛躍の年としてまいります。

近年、地方自治体には、住んで良かった、住んでみたいと思えるまちづくりが求められています。

市川市においても、その立地条件を活かし、市民が永住したいと思える魅力的なまちづくりを進めてまいります。そのためには、様々な場面において潤いと活気のある